



国際会長 (IP) ヨハン・ヴィルヘルム・エルドヴィック (ノルウエー)

「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」

会長 古賀健一郎

副会長 齋藤 宙也

書記 古田 和彦

会計 大高 治

直前会長 齋藤 宙也

アジア太平洋地域会長 (AP) ラチャン・マニカーン (タイ)

「アジア・太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」

東日本区理事 (RD) 山下 真 (十勝)

「挑戦なくして進化なし」

かながわ部長 (DG) 佐藤 節子 (厚木)

「一緒にワイズの未来を輝かせましょう」

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「つながりを力に、平和な未来へ一歩」

監事 松島 美一

ブリテン 秋元 美晴

担当主事 菅原 歩

<今月の聖句>

秋元 美晴

神よ、守ってください。

あなたを避けどころとするわたしを。

(詩編 16 編 1 節)

今月のひとこと

こころ洗われる聖歌とご詠歌

大高 治

モンマルトルの丘

もう 20 年以上前のことです。妻との欧州旅行に出かけた際、パリのモンマルトルの丘にあるサクレクール大聖堂を訪問しました。案内書にはキリスト教の教会なのになぜか寺院と書かれています。正しくは大聖堂ではなからうか。私は大聖堂と呼ぶことにしました。



長い石段を上り大きな聖堂に入ると、大勢の尼僧が中央の舞台で、透き通るような声でゆったりと聖歌を合唱しております。思わず立ち止まり、何曲聞いたか覚えておりませんが、次から次へと心洗われるような合唱が続きました。「いのちの泉」という歌集に納められている歌でした。このような場での音楽は全て讃美歌というのかと思っていましたが、そうではありませんでした。ChatGPT はフランスのカトリック教会の典礼聖歌が正しく、カトリックの伝統を基盤にしていると言いま

パリの北側に位置する

芸術家に愛されたエリア

「モンマルトルとサクレ・クール寺院」



<ネットからの借用>

す。

ウィーン少年合唱団

こころ洗われるような合唱と言えば、声変わりする前の少年だけで唄う歌うウィーン少年合唱団が有名です。この合唱団は日本では唱歌や民謡なども歌いました。それぞれ訪問先の民の心に響くような唄も取り入れているのだと思いました。ハプスブルク宮廷のカトリック聖歌隊とウィーンのカトリック音楽文化から発展したということのようで、立派な宗教を基盤としています。

芋がら入りケンチン汁とご詠歌

何年か前の 11 月の末、少し寒くなった頃、郷里の菩提寺の開山忌に行きました。曹洞宗の水戸市河和田町の天徳寺です。集落や町内の寺幹事と 100 年までの回忌に当たる檀家さんが大勢集まりました。一般的にはこのような会は「合同年忌法要」と言うようです。法要と法話の後、住職が一味違うとご自慢の

芋が入りケンチン汁をご馳走になっていると、数名の女性が縁側に座し、鈴や鉦を鳴らしながらゆったりと唱えるように歌うご詠歌が聞こえてきました。これはどこかで聞いたことのある響き。どこだろう。そうです、あのモンマルトルの丘のサクレール大聖堂での心洗われるような音楽です。宗教の歌には大きく共通点するものがあると感嘆しました。ご詠歌も聖歌もゆったり歌うところが共通点で、それが心に響くのだろーと思ひます。

宗教歌の国際大会

会の終了後、ご詠歌を指導された若いお坊さんに、サクレール大聖堂の思い出をお話ししながら、お礼を申し上げました。曹洞宗のご詠歌は梅花流詠賛歌、短くは梅歌というそうです。「宗教歌の国際大会が有ったら良いですね」と言えば、若い僧侶は「曹洞宗のご詠歌大会はあります。国際大会は将来です。曹洞宗の三大運動の一つは平和運動ですから」と、また「住職の法話のように合掌を続けると世の中が変ります。ひとつ試してみてください」と諭されました。仏教では歌うことが、信仰の行為で、比較的ゆったりと詠歌するのだそうです。男性が歌うのは声明（ショウミョウ）となります。宗派によって流派があり、旋律、歌詞、使う仏具などに違いがあるようです。

国替えの悲劇から立ち直って

天徳寺は、元は佐竹藩の菩提寺でした。佐竹藩は常陸太田を本拠に460年に渡り茨城県の中央部を治めていた54万石の大藩でした。関ヶ原の戦いの後1602年、秋田に移封、20万石へと国替えを命ぜられました。悲劇は秋田での地領を知らされていないなかで国替えでした。善政を敷いた佐竹の殿を慕う家臣は多かったが、「地元に残れ」と命じられた人、途中で前進出来なくなった家族も多かったようです。

常陸太田の天徳寺の僧侶は秋田に向い、弟子たちは地元に残って寺務を維持、その後水戸に移って、さびれて行くところ、水戸藩の2代目藩主、光圀公の援助の命で再興出来ました。1712年のことです。今では檀家数の多い立派なお寺になっています。

一方、秋田に移った天徳寺にも悲劇がありました。一般の檀家がほとんどない状態で、佐竹家を中心に再出発しました。その後寺領300石を藩から頂き保護され、大寺院になっています。



秋田市の天徳寺の本殿（ネットから）



水戸市の天徳寺の山門（ネットから）

<2026年9月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
10名	メン 7名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 0名 ゲスト 2名 合計 9名	80% (メキップ1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<10月の行事>

ASF

日	曜	時間	行事内容	場所
3	土	8:20～11:30	美しい港町横濱を作る清掃活動	桜木町
8	木	18:30～20:00	第一例会	中央Y
11	日	18:00～20:00	第30回かながわ部大会	湘南とつかY
17	土	8:00～	横浜YMCAチャリティラン	臨港パーク
22	木	17:00～	第二例会	Zoom

第一例会報告

古賀 健一郎

横浜クラブ9月第一例会が下記にて開催された。

- ①日時：9月10日（木）18:30～20:40
- ②場所：横浜中央YMCA 812教室 + Zoomによるハイブリッド方式
- ③出席者：秋元（Zoom参加）、大高、古賀、齋藤、佐竹、菅原、古田
- ゲスト：常田風花さん（横浜YMCA ユースリーダー、幼稚

園教諭

例会は古賀の司会により定刻に開始、開会点鐘と挨拶に続き、ワイズソング、ワイズの信条の唱和が行われた。ゲスト紹介の後、古田ワイズによる聖句朗読とお祈りがあった。

今回の卓話者は、横浜 YMCA ユースリーダーとして活動し、YVLF でも中心的な役割を担ってきた常田風花さん、リーダー名「はなさん」です。

はなさんは、6月に石巻で開催された第29回ワイズメンズクラブ東日本区大会に参加し、そこで出会った人々や、震災後の石巻で今なお続けられている復興への歩みについて語っていただきました。特に心に残ったのは、石巻市雄勝町で活動を続ける徳水さんご夫妻のお話でした。

東日本大震災によって大切な家族を失い、深い悲しみの中に置かれながらも、奥様は実家跡地に、亡くなったご家族への追悼として2株の苗木を植えました。そこからたくさんの方とつながり、地域のコミュニティをなくしたくないという思いから、活動を始められました。その小さな一歩は、多くのボランティアや支援者との出会いによって広がり、やがて豊かなローズガーデンへと育っていきました。

一方、徳水さんは、震災後に人口減少が進む地域の中で、「若者の雇用を生み出したい」との願いを持ち、地域に新たな仕事と未来を生み出すことを目指して歩んでこられました。

その歩みを支えたのは、ボランティアをはじめ、専門家や行政など、多くの人々とのつながりでした。そこには、見返りを求めない善意がありました。

はなさんの話の中で、「人とつながること。善意をたくさんいただくことで希望を与えられ、足元からひとつずつ実現してきた」という言葉が示されていました。自分たちの力だけでは到底なし得なかったことが、多くの支援者やボランティアの善意によって一つひとつ形になり、やがて地域の人々が集うコミュニティガーデンへと育っていったのです。そして、無償で受けた善意を今度は自分たちも無償でお返ししたいという思いから、ガーデンを無料で開放されていることも紹介されました。

東日本大震災という未曾有の災害によって、人生の土台そのものを揺さぶられるほどの苦しみを経験しながらも、その悲しみのただ中で希望の光を探し求め、歩みを止めなかった人々。その歩みの中で、人と人とのつながりが生まれ、支え合いの輪が広がり、やがて新しい共同体へと育っていったことに、はなさん自身も深く心を動かされたのだと思います。

そして今回の卓話を通して、はなさんはその感動を、私たち横浜クラブの仲間と分かち合ってくださいました。

石巻大会の言葉である「瓦礫、命、感謝。次の未来へ!」というメッセージが、単なる標語ではなく、苦しみの中から希望を見だし、人と人とのつながりによって未来を切り拓いていく人々の姿そのものであることを、私たちも改めて感じることができました。それはまさしく、横浜クラブ本年度の主題である「つながりを力に、平和な未来へ一歩」へと通じる貴重なお話でした。

私たちは決して一人だけで生きているのではありません

ん。人との出会いによって支えられ、励まされ、また自分自身も誰かを支える存在となります。人と人のつながりが力となり、その力が希望を生み、その希望をまた次の人へと手渡していく。徳水さんご夫妻の歩みは、そのことを私たちに教えてくださったように思います。

例会終了後には、はなさんを囲んで食事を共にし、世代を越えて語り合う懇談のひとつも持つことができました。卓話だけではなく、その後の交わりも含めて、「人とつながること」の豊かさを実感した例会となりました。

現在、はなさんは幼稚園教諭として、日々子どもたちと向き合っておられます。石巻で学んだ、人と人が支え合うことの大切さ、そしてつながりの中から希望が生まれるという経験は、これからきっと、はなさんを通して子どもたちにも伝えられていくことでしょう。

未来を担う子どもたちが、互いを大切にし、豊かな交わりを築きながら歩んでいくことを願いつつ、はなさんのこれからの歩みにも期待したいと思います。

その後はビジネスミーティングに移り、今後の予定等を確認。会長の閉会点鐘により、定刻どおりに終了した。

第111回 YMCA-Y's 協議会報告

古田 和彦

○日 時 2026年9月1日(火) 19:00~20:25
○会 場 横浜中央YMCA 6階606号室
○出席者 29名 内横浜クラブ3名 (佐竹博、菅原歩、古田和彦)

今回は横浜つるみクラブが当番、開会礼拝司会は松尾直担当主事、その後の進行は久保勝昭会長が行う。

1. 開会礼拝 聖書 テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5章16-18節 祈祷 松尾直
2. 挨拶 横浜YMCA総主事 佐竹博
ワイズメンズクラブ湘南・沖縄部部長 佐藤節子
3. 協議

① 第38回東日本YMCA ユースボランティアリーダーズフォーラム(YVLF)
宮沢仁スタッフから説明。9/4-6、高尾の森わくわくビレッジでとちぎYMCAの主管で行われる。横浜YMCAからはボランティアリーダー5名と引率1名が参加。ワイズの皆さんも参加してほしいとの説明があり、了承した。

② 第29回インターナショナルチャリティーラン
関口努スタッフから説明。オンライン大会は10/1-15、リアル大会は10/17(土)臨港パークで開催する。個人としての参加、チームスポンサー、Tシャツの購入、新規参加企業の紹介、リアル大会当日の会場ボランティアなど、例年通りの御協力をお願いしたい。また、今年は、日本YMCA主催のオンライン大会があるが、横浜のオンライン大会に申し込んだ方を自動的に登録することとなっているとの説明があり、了承した。

- ③ YMCA フェスタ
古賀会員事業委員長に代わって森山部担当主事が説明。9/23（水・休）10：00-14：30 湘南とつかYMCAで開催。メインは語学教育に焦点を当てた企画。オンラインで申し込んでほしい。了承した。
- ④ YMCA 維持会費について
森山部担当主事から説明。ワイズメンはYMCA 維持会員となることとなっているので、まだ、維持会費を納めていない方は納付をお願いしたい。また、新規会員の紹介をお願いしたい。了承した。
- ⑤ 東日本区大会派遣リーダー報告会
菅原横浜クラブ担当主事から説明。東日本区大会に部が援助してユースリーダーの常田風花さんを派遣した。その報告会を9/10の横浜クラブ例会で行うので、参加してほしい。了解。

4. 報告

- ① 日本語スピーチコンテスト（報告者 山下忠司スタッフ）7/18、開港記念会館ホールで実施。関内、厚木の各専門学校から各5名、計10名が発表。生徒は全員聴講した。横浜、厚木の両ワイズメンズクラブが共催した。
- ② 第33回エイズ文化フォーラム（報告者 阿部正伴スタッフ）8/7-9日神奈川県民サポートセンターで実施。ブリテン8月号に報告済み。
- ③ かながわ部納涼会（報告者 古田部会計）8/27ローヤルホールヨコハマで43名参加して実施。ブリテン8月号で報告済み。
- ④ かながわ部報告（佐藤部長）部報第1号を発行した。10/11（日）15：00-17：30 湘南とつかYMCAで開催する。
- ⑥ 各クラブ報告（各クラブ）横浜クラブからは9月の例会案内を行った。

次回 第112回 日時：2026年12月1日（火）19：00～20：30 会場：中央YMCA 担当：大和クリエイティブY サービスクラブ

る何かを見つけ、共に活動する仲間とつながり、それが地域をさらに良くしていく活動へと広がってほしいとの願いをお話しました。

今年の最初のプログラムは「知りたい！あなたの知らない語学教育事業」。横浜YMCAの語学教育事業についての紹介をはじめ、英語体験や子どもたちも参加できるプログラム、ミニライブなどを通して、その働きに触れる機会となりました。

続く「ワクワク体験会～見たい、知りたい、やってみたい～」では、1階・2階に横浜YMCAのさまざまな事業・活動のブースが設けられ、スタンプラリーを楽しみながら、参加者がそれぞれ関心のある活動を体験しました。

私たち横浜ワイズメンズクラブも「子どもと共に絵本を楽しむ会」として読み聞かせを行いました。絵本を読むことだけでなく、絵本を通して子どもと大人が心を通わせることを大切にしている活動です。当日も親子の皆さんと楽しいひとときを共にすることができました。

昼にはフード・マルシェが開かれ、食事や買い物を楽しみながら参加者同士の交流が広がりました。午後にはユースリーダーの「ギター会」の皆さんのリードでキャンプソングやゲームを楽しみ、続くビンゴ大会も大いに盛り上がりしました。世代を越えて共に歌い、笑顔を交わす、YMCAらしい時間となりました。

閉会にあたっては、横浜YMCAが「愛と奉仕」の精神に基づき、誰もが夢や希望を描くことのできる平和な社会の実現を目指していることが改めて語られ、最後に参加者全員で「横浜YMCA—私たちの使命—」を交読しました。

そこには、異なる文化、民族、思想、信条を尊重し、互いに助け合い、平和な世界をつくるために共に働くという、YMCAに連なる私たちの使命が示されています。

今、世界で分断や争いが続く中だからこそ、人と人が出会い、互いを知り、つながることの大切さを改めて感じます。このフェスタで生まれた一つひとつの出会いやつながりが、YMCAから地域へ、そして平和でより良い社会へと広がっていくことを願っています。

横浜クラブ参加者：秋元、大高、古賀、菅原、佐竹、古田

2026 横浜 YMCA フェスタ～私たち会員の集い～報告

古賀 健一郎

9月23日（水・祝）、湘南とつかYMCAにおいて、「2026年度横浜YMCA フェスタ～私たち会員の集い～」が開催されました。今年で5回目を迎えたこのフェスタは、維持会員がYMCAの活動をさらに知り、会員同士が交流を深め、それぞれが主体的にYMCAに関わっていく契機となることを願って開催されています。

開会礼拝では、2026年度横浜YMCA基本聖句、ペテロの手紙13章11節「善を行い、平和を願って、これを追い求めよ。」が朗読され、会員事業委員の鈴木茂さんが祈りを捧げ、維持会員の今城宏子さんが奏楽のご奉仕をしてくださいました。

続いて会員事業委員長として挨拶をさせていただきました。維持会員一人ひとりが、それぞれの思いをもってYMCAに関わっています。このフェスタを通して、YMCAと一緒に活動でき



横浜YMCA フェスタを支えた企画・実行メンバー



絵本を通して子どもと大人が心を通わせるひととき



ギターの会と一緒にキャンプソングを楽しむ

近 況

秋元 美晴



定年を迎えるころ、私は定年になったら、毎日何をするのだろう。家事ばかりしているのだろうか。それはあまりにつまらないと思っておりました。私の6年前に夫は定年になっていましたが、大学に行かなくなっただけで、毎日、定年前と変わらない研究生生活を送っています。

夫は研究者なので、きっと人生の終わりまで毎日同じ生活をしていくのだと思います。

ところが、私は夫のように学問が好きだというわけでもなく、なりゆきで大学教員になったので、真の研究者ではありません。現役のところは、毎日、明日の授業と論文の締め切り日のことばかり考えていました。ですので、定年後のことを考えると、どうやって、1日を送ったらよいのかと、とても不安でした。

定年になって、今年で10年目を迎えましたが、私の不安は杞憂でした。毎日毎日、しなければならないことばかりで、現役のところとは違ったことで忙しい毎日を過ごしています。日曜日は教会に参ります。月、木、土曜日は夜8時から9時まで中国のお二人と日本語の勉強をしています。月、木は日本語能力試験N1合格を目指している35歳の男性と、そして、土曜日は廈門大学の日本語学科の4年生の女性の学生さんと勉強しています。それから横浜ワイズメンズクラブの第一例会、第二例会や諸行事への参加、それに学会や研究会に参加したり、論文を書いたりしています。また、現役のところなかったルーティンに

病院通いがあります。内科をはじめ、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、歯科、最近はその中国鍼も加わりました。

私のカレンダーはほとんど埋まっています。

第二例会

秋元 美晴

日時：9月24日(木)17:00~18:10

場所：Zoomによる開催

出席者：秋元、大高、古賀、菅原、古田

協議・確認・検討事項

1. 行事予定

資料に示された予定を確認。

2. 協議・報告事項

(1) 第32回美しい港町横浜を作る会の清掃活動

集合：8:20 桜木町 日本丸メモリアルパーク

当クラブ参加者：古賀・佐竹・菅原・古田

(2) 第一例会

10月8日(木)18:30~ 於：中央YMCA

卓話のゲストにパステルシャインアートインストラクターの水野美保氏をお迎えする。ビジターとして、佐藤節子さんが出席する。

なお、今後の第一例会の予定、11月12日(木)は、佐藤節子かながわ部部長に卓話をお願いする。12月のは【横浜YMCAクリスマス礼拝】(12月19日(土)、13:30~15:20 於：日本バプテスト横浜教会)が第一例会を兼ねることになった。

(3) 第30回かながわ部大会 2026

日時：2026年10月11日(日)15時~17時30分

会場：湘南とつかYMCA 1階ホール

第1部 部大会 開会点鐘、ワイズソング・ワイズの信条、今月の聖句と祈禱、部長挨拶

第2部 ユースアクションプログラム活動報告

(一般社団法人 Reaching Zero-Dose Children 発表者 片桐碧海氏)

第3部 ミニミュージカル上演

会 費 部大会1,000円、懇親会5,000円

当クラブ参加者予定者：秋元、大高、古賀、菅原、齋藤、古田

(4) インターナショナルチャリティーラン

10月17日(土)8時 臨港パーク集合

当日参加予定者：秋元、大高、古賀、菅原、齋藤、村田製作所の方

(5) 横浜中央YMCA フェスタ

日時：11月3日(火・休)9:30~

バザー会場：6階(606)

高寺さんか稗田さんかがお手伝いにいらして下さる予定

<バザー準備会>

日時：11月2日(月)13時~17時

会場：6階(606)

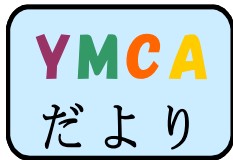
(6) ブリテン10月号・11月号編集計画(別添による)

11月号の未定の3件についての執筆者を決めた

- ・美しい港町横浜を作る会清掃活動 古賀
- ・第30回かながわ部部大会 古田
- ・横浜YMCAチャリティーラン 秋元

(7) その他

現在、ホームページに不具合が発生しており、復旧に向けて対応中。横浜ワイズメンズクラブのブリテンはワイズ東日本区会員ページをご参照ください。



担当主事 菅原 歩

横浜YMCAの10月は、障がいのある子どもたちの笑顔と成長を支える「チャリティーラン」や、全国のユースリーダーたちが集う「全国YMCAリーダー研修会」など、誰もが個性を輝かせ共に支え合う社会を目指す実践が広がる季節です。

1日～15日のオンライン大会に続き、17日(土)には「第29回 横浜YMCA インターナショナル・チャリティーラン」を開催いたします。障がいの有無に関わらず、ランナーやボランティア、応援する人々が一つとなり、寄付金は障がいのある子どもたちのプログラム参加支援へと役立てられます。

また10日～12日には、横浜YMCAが主管となり、三浦にて「第57回 全国YMCAリーダー研修会」を開催いたします。「ゆーすふる (You's Ful)」をテーマに、全国から集うユースリーダーたちがボランティアスピリットを深め、これからの地域社会における自分たちの役割や可能性について語り合います。一人ひとりの「違い」を尊び、共に生きるインクルーシブな社会を創ること、そしてその未来を担う若者を育むことは、YMCAの大切な使命です。走る人も、支える人も、未来に向かって立ち上がるユースも、それぞれの場所で輝く秋。これからも共に歩みを進めたいと願っています。

10月

3日(土): みんなの食堂 オベリン食堂 (YMCA オベリン保育園)

第29回 横浜YMCA インターナショナル・チャリティ

○1日(木)～10月15日(木): オンライン大会

○17日(土): リアル大会

10日(土)～12日(月・祝): 第57回全国YMCAリーダー研修会

10月第一例会プログラム

日時: 10月8日(木)

場所: 中央YMCA

司会: 齋藤ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶・・・・・・古賀会長
2. ワイズソング・ワイズの信条・・・全員
3. 今月の聖句・・・・・・秋元ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介・・・・・・古賀会長
5. 卓話「パステルシャインアート ～心をつなぎ、希望を描く～」・・・・水野 美保氏
6. ビジネス・報告
7. Happy Birthday
8. 閉会点鐘・・・・・・古賀会長

例会報告 齋藤ワイズ

11月の行事予定

日	曜	時 間	行 事 内 容	場 所
2	月	13:00-17:00	バザー準備会	中央Y 606教室
3	火・休	9:30-	横浜中央YMCA フェスタ (バザー)	中央Y 606教室
12	木	18:30-20:00	第一例会	中央Y
26	木	17:00-18:00	第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 菅原歩にご連絡下さい。

メール sugahara_ayumu@yokohamaymca.org

電話 045-307-7556